

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.4 保管&運送

船会社の減便の中、輸出が急増しコンテナと輸送機器不足が深刻化。船員や通関業務員の安全対策により入港・通関業務が遅延。輸送料金は高騰。また道路輸送に偏重するリスクが浮き彫り



#### 保管&運送への影響

##### 通関業務の遅れと 港の渋滞により 輸送が遅延

- 昨年5月よりデジタル機器を中心とした貨物が急激に増加。一方で、船員や関連従事者の安全対策から人員制限により通関業務が遅延し、港が渋滞し本船の遅延多発
- ホーチミン・カットライ、カイメップの両港で平均3~4日の本船の遅延発生

##### 冷凍冷蔵倉庫の不足

- ロックダウンにより食品需要が落ち込み、水産加工物等の輸出が滞り、輸入品の在庫が増え多くの倉庫がフル稼働
- また、伝統小売が根強く残っていたベトナムでは、消費者の多くは精肉や水産品を生鮮市場で購入していたが、COVID-19の影響により、保冷管理されたミニマート等にて購入する傾向が増加。冷凍冷蔵倉庫の需要が更に増加

##### コンテナと輸送機器不足 の深刻化

- 各社、減便していた船便を増便し対応するが、送り出したコンテナの回収に通常以上の時間が掛かり、深刻なコンテナと輸送機器の不足状態が続く
- 各社で争奪戦となり輸送コストが上昇傾向にある

##### 道路輸送に偏重すること への懸念

- オンライン需要の増加により、ラストワンマイルの配達会社は配達注文の急増、対応能力の限界に達している
- 物流が道路輸送に偏重していることから、感染流行地の閉鎖や各省市間の移動が規制されることによるオペレーションへの影響が懸念される

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.4 保管&運送

参考) COVID-19の影響により保冷管理されたスーパーマーケット、ミニマート等にて購入する傾向が増加  
卸・小売業者を中心に冷凍冷蔵倉庫や保冷トラックの必要性が上がっている



#### 食品衛生管理に対する意識の高まり

- Although traditional grocery shopping through local markets and independent stores dominates Vietnam's grocery industry, modern channels are expanding rapidly due to consumer's food safety concern and improvement of hygiene practice during the COVID-19 pandemic.
- The consumer's behavior of buying the fresh foods items such as meat and seafood from supermarket / mini mart will remain after the COVID-19 impact.
- The refrigerated facilities such as cold storage and refer trucks demands are definitely increasing since COVID-19.

Trade Marketing Director, Local Trading firm



参考) 倉庫大手GLPは、ベトナムにて現地企業と約15億ドルの合併会社を設立

## Warehousing giant GLP launches \$1.5bn joint venture in Vietnam

Singapore company bets on COVID success story as trade moves from China

2020/10/16

**The big logistics company sees huge growth potential in Vietnam, a country with a dynamic population that has had success halting the spread of COVID-19.**

- Asia's biggest warehouse operator GLP is debuting in Vietnam through a \$1.5 billion joint venture, betting that demand for logistics services will rise in Southeast Asia as brands diversify their supply chains away from China.
- The company will develop three facilities with Vietnam's SEA Logistic Partners, or SLP. The partners plan to develop a total of 335,000 sq. meters of land around Hanoi and Ho Chi Minh City, according to GLP.
- The warehouses will be GLP's first in Southeast Asia. Vietnam has become attractive due to its ability to tame the spread of COVID-19 -- it has so far dealt with 1,124 cases and 35 deaths -- and keep its economy mostly open this year. Its relative success against the pandemic has helped Vietnam attract investors leaving China as they try to avoid the crossfire from the Sino-American trade war.



### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.4 保管&運送

#### 参考) ベトナム国内のビール輸送で内航船使用開始 (2020年08月17日)

#### 第2波など今後の感染拡大防止策においても配送ルートが多様化は得策と考えられる

- サッポロホールディングス(株)のグループ企業であるサッポロビール(株)は、物流部門での環境負荷の低減および長距離トラック輸送の削減を目的に、ベトナム南部にある「サッポロベトナム ロンアン工場」(注1)とベトナム北部との間の輸送において、2020年7月1日より、ベトナム国内内航船の使用を開始。

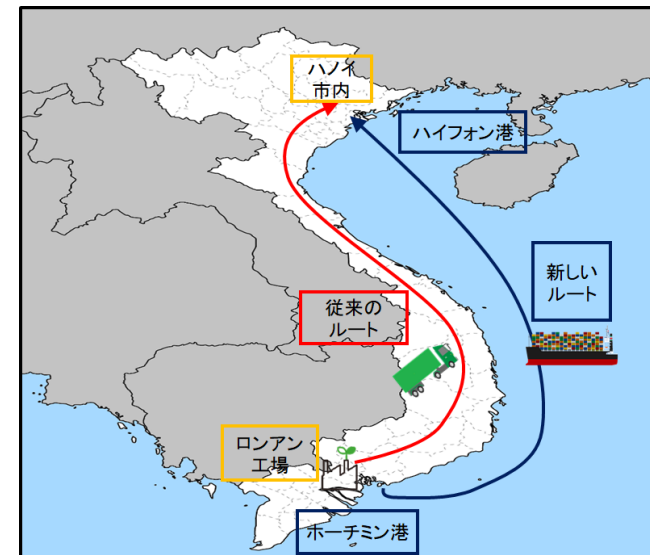
従来、ロンアン工場(注1)からベトナム北部へ向かうビールは北部の物流拠点まで全て陸路でのトラック輸送としていたが、今回、陸路の大部分を海路に切り替え、ロンアン工場(注1)からホーチミン港を経由し、ハイフォン港まで内航船を使うルート(注2)での輸送を新たに開始。

この取り組みにより、年間のCO2排出量を約450t(従来比で約64.5%)削減できると見込んでいる。

サッポロビール社は、日本国内において世界的に関心が高まっている温室効果ガス対策や、長距離トラック輸送のドライバー不足に伴う物流インフラの逼迫に対して、環境にやさしく持続可能なモーダルシフトの取り組みを進めていく。今回、日本国内で培った物流ノウハウをもとに国を超えて新たな輸送体制を構築することで、さらなる持続可能な社会への貢献を目指す。

(注1) 日本のビールメーカーとして初のベトナムでの工場建設を経て、2011年11月24日竣工。

(注2) ロンアン工場からホーチミン港、およびハイフォン港到着後の倉庫から物流拠点までの移動はトラック輸送となる。





### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.5 食品加工

食品加工においては、保存型の加工食品（冷凍食品や缶詰製品）の需要が急増  
加工用原材料の高騰と従業員の安全対策の徹底から国内・国外の需要量の確保に苦戦



#### 食品加工への影響

テーマ	影響	内容
供給側	加工用原材料の調達への影響	<ul style="list-style-type: none"><li>航空便を中心に減便され、加工工場にて原材料が届かない・遅延する事態に発生。加工工場は船便への変更など調達ルートの見直しを迫られた</li><li>マサングループでは、中国からのヌードルの供給が一時ストップ。材料の不足から加工工場では生産ラインを一時ストップさせる事態が発生</li></ul>
	加工用原材料の枯渇と価格の高騰化	<ul style="list-style-type: none"><li>特に、昨年末より続くアフリカ豚熱（ASF）とCOVID-19の影響により豚肉が品薄、価格が高騰</li><li>輸入先の国における輸出規制により原材料の供給に支障が発生</li></ul>
	安全対策の必要性によるコスト高	<ul style="list-style-type: none"><li>安全対策の徹底により一つの生産ラインに対しての人員を削減、シフト制にする必要あり</li><li>定期的な工場の消毒、休憩時間（タイミング）の管理や食事場所の確保など経費を圧迫</li></ul>

## COVID-19の影響により食材の安全性保証への関心が高まる

### 国内最大の農業生産・食品製造メーカーマサングループは、豚肉の自社ブランド化を発表



#### 食品加工への影響

テーマ	影響	内容
需要側	冷凍食品や インスタント食品の ニーズ拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>シーフードや肉など冷凍食品、缶詰製品やチャーハンやチキンステーキなどのインスタント食品の需要が急増</li><li>コロナの影響により外出が制限されるなか、食材を一定量ストックする傾向が誕生</li></ul>
	食材の包装形態 への嗜好変化	<ul style="list-style-type: none"><li>冷凍や処理済みの肉より、市場で売られている生肉が新鮮とされてきた文化であったが、COVID-19の影響を受け、パッケージされた食材や処理済みの肉を好む人々が増加</li></ul>
	食材の安全性 保証への関心向上	<ul style="list-style-type: none"><li>食材の安全性、衛生管理、トレーサビリティによる食材の保証などの関心が富裕層を中心に向上</li><li>国内最大の農業生産・食品製造メーカーマサングループは、豚肉の自社ブランド化を発表</li></ul>

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.5 食品加工

参考) 消費者の食材の安全性保証への関心の高まりを受け、国内最大の食品製造メーカーマサングループは、トレーサビリティの徹底を強調する為、豚肉の自社ブランド化を発表

#### Masan Group sets sights on branded meat

By Nam Anh, Hung Le July 25, 2019 | 09:44 pm GMT+7

Vietnamese food and agricultural giant Masan has renamed a subsidiary to focus on selling branded pork products. The subsidiary, Masan Nutri-Science (MNS), Masan Group's animal nutrition division, established in 2015, will now be known as Masan MEATLife (MML).

This is the first step in the group's new strategy of switching from agricultural products to fast-moving consumer goods (FMCG), like providing branded packaged meat, a Masan representative told *VnExpress*.

The company wants to be the top producer in this market within the year, the representative added.

By 2022, MML expects branded meat products to contribute 50-70 percent of its revenue, as consumers move to meat products guaranteed by brands, it said in a statement.

Masan Group also plans to make the company go public later in 2019 on UPCoM, an exchange for unlisted public companies that allows them to sell shares without having to list on Vietnam's main exchanges.

